

協働のまちづくり講座レポート

富里市市民協働推進プログラム事業の一環として「協働のまちづくり講座」を行いました。

市民協働によるまちづくりを進める中で、とても大切な情報発信を行うことについて一つのツールとしての紙媒体とWEBを取り上げ富里市福祉センターにて行いました。

講師兼ファシリテーター
 (株)高千穂ネットワーク代表取締役
 中村 正明

平成 28 年 1 月 25 日 (月)

第 1 回 第 1 部 32 名参加

みんなで作ろう広報紙

講師 (株)高千穂ネットワーク広報編集グループ
 伊藤 佐緒里

第 2 部 30 名参加

ソーシャルメディアの活用法 I

講師 東京情報大学 助教 河野 義広

平成 28 年 2 月 15 日 (月)

第 2 回 第 1 部 23 名参加

みんなで作ろう広報紙

講師 STaD 編集長 加瀬 聡子

写真を撮影する 8 つのポイント

講師 写真家 関 建作

第 2 部 23 名参加

ソーシャルメディアの活用法 II

講師 東京情報大学 助教 河野 義広

富里市市民協働推進プログラム事業 協働のまちづくり講座

地域づくりいかにそう!
広報紙制作とソーシャルメディア活用

第 1 回
1月25日(月)
 富里市福祉センター2階大会議室
 第1部 10:00~12:00
みんなで作ろう広報紙
 ・広報紙づくりのポイント
 ・広報紙持ち寄りによる意見交換
 第2部 13:00~15:00
ソーシャルメディアの活用法 I
 ・東京情報大学 河野義広先生による
 WEB講座 (座学&ワークショップ)

第 2 回
2月15日(月)
 富里市福祉センター2階大会議室
 第1部 10:00~12:00
みんなで作ろう広報紙
 ・取材の仕方と写真の撮り方
 ・やってみよう!取材と撮影
 第2部 13:00~15:00
ソーシャルメディアの活用法 II
 ・東京情報大学 河野義広先生による
 WEB講座 (座学&ワークショップ)

お問合せ
 富里市市民経済開発部
 市民活動推進課市民協働推進班 **TEL.0476-93-1117**

お申込は下記ご記入の上、FAXにてお申込ください。 **FAX.0476-93-9954**

参加希望回に○(複数可)をつけてください

(第1回第1部広報 第1回第2部情報 第2回第1部広報 第2回第2部情報)

フリガナ
 お名前 _____ 性別(男・女) _____
 ご住所 _____ 年齢(20代・30代・40代・50代・60代・その他) _____
 _____ 電話番号 _____

①紙媒体を活用した情報発信について

広報は、団体などの活動を、広く一般の方や共に活動する方たちに知らせるためであり、記録として残していくためのものです。団体の歴史を物語る記録として大切なものです。共に活動をしてくれる人を見つけるためにも大いに活用できるツールの一つです。

皆さんの団体の課題などを出し合ってその課題を解決していく一つのツールとなるような方針やテーマを決め計画を立てることが大切です。

それぞれの団体の1年間の予定や今後の企画などを把握し、さらにまわりの関係する団体の情報収集などに努め、その情報発信（告知）をすることで活動の参加を集ったり、関心のある方に出会う機会になります。

●**広報紙作りは単なる「面倒な作業」ではなくて、あなたの人生の幅を広げてくれる機会です。**

このような「広報活動について」の話から、実際に情報収集・整理、紙面構成の考え方、取材の仕方、写真の撮り方、そして発行までの流れなど2回にわたり講義が行われました。

両日、既存の広報紙を持ち寄り、意見交換をしたり、取材の仕方・写真の撮り方などのワークショップも行いました。参加された皆さんから、すでに様々な活動の中で、広報活動についての現状や課題点などの話を伺いました。



既存の広報紙からよい点・課題点などの意見を出し合う



出し合った意見をまとめて発表

第2回の午前の部の中では、写真家 関氏の講座では「写真を撮影する8つのポイント」と題して講座が行われ、まず写真を撮るとき大切なことは光を意識することと話されました。8つのポイントは以下の通りです。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1.光の向きに気をくばる | 2.構図を工夫 |
| 3.ぶれを考える | 4.いろいろな目線で |
| 5.関係づくり | 6.瞬間を逃さない |
| 7.ホワイトバランスを変える | 8.現場に出てたくさん撮る |

講座では素晴らしい作品の数々を例に、撮影するときの心構えから理論を学び、実践までを楽しくわかりやすく指導していただきました。最後に実際に参加者のカメラを使用して撮影をするなどをしながら、参加された皆さんからの質疑応答にお答えいただきました。



講座風景

②ソーシャルメディア（フェイスブック等）を活用した情報発信について



市民協働を推進するためのWEB活用（システム・コンテンツ）による情報発信、情報の共有、情報の管理など東京情報大学総合情報学科 河野義広先生をお招きして講座をしていただきました。

WEBの基本、その中のソーシャルメディアとは何か、情報の公開とプライバシー、メディア戦略としてWEBを活用した情報発信の仕方などを話されました。

WEBを活用した情報発信がとても有効的であり、複数のメディアを活用して情報発信をすることで、それぞれのメディアが持つ長所と短所を相互に補完し合い、相乗的な効果がうまれます。また紙媒体からインターネットへ繋がるHPアドレスやQRコードを表記することで、紙媒体だけでは対応しきれない即時性や広がりをもった情報が伝達可能となります。

リアルタイム性が強く、他者とのコミュニケーションを図ることができるツイッター（Twitter）やフェイスブック（Facebook）などの説明や活用法、インターネット上のWEBサイトやWEBページと連動して活用することが望ましい。

このような講座のあと、参加された皆さんからたくさんの質問があり、先生にお答えいただきました。



参加された皆様からのご感想やご意見

- 広報紙の講座の中がわかりやすく、写真や紙面構成、空間どり、リードやサブリードなどのキーワードが参考になった。活動報告のまとめ方や報告書の作成などについての講座があればよい。
- 自治会などの活動に役立つと思う。
- 参加者が講座内容についてどの程度の知識があるか事前に調べた方がいいと思う。
- プライベートメッセージ、ワードプレスの説明が大変参考になった。
- こういった講座に参加経験のない団体を招くことができる講座
- WEBについてと写真の撮り方に興味をもった。
- 実践的な「ポスターやチラシを作ってみよう」というような講座があったらよい。
- 取材の仕方、紙面構成について役立った。
- 魅力ある資料（回覧物など）をつくりたいと思ったので参加した。
- 広報紙作成のためのヒントがあればと思い参加した。
- 情報発信のためのヒントがあればと思い参加した。
- ソーシャルメディアをうまく利用できる実践を取り入れた講座をしてほしい。
- 情報収集から伝達そして発信というお話を興味深く聴かせていただきました。
- 情報発信の難しさを覚えました。
- ソーシャルメディアの活用にとっても関心をもちました。ぜひ活用したい。
- SNSを使った情報発信に関心をもちました。
- SNSの応用と発展、その他注目すべきサイトの活用法などの講座がしてほしい。
- 障がい者のボランティア養成講座をしてほしい。

★市民活動サポートセンターへの要望をお聞きしました

- 市民活動の取り組み状況やそれぞれの団体が抱える課題点、活動団体が必要とする助成金やセミナーなどの情報を発信してほしい。
- 広く浅く市民の行政へのアプローチ役として体制を整えてほしい。

以上